

款	消防費	項	消防費			
事業名	消防救急無線のデジタル化等共同整備事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	3 消防救急無線デジタル化共同整備等の推進					
H27決算額	136,064千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				126,000千円		10,064千円

【事業の概要】

デジタル化消防救急無線及び共同指令センターを、県内消防本部の共同で整備し、119番通報受理の集約化並びに大規模災害に強い指令体制を構築しました。

[事業のイメージ]

デジタル化無線整備事業

	共用部分 ・無線基地局 無線装置・電源設備
 	各消防本部分 車載無線機器
21消防本部	

共同指令センター整備事業

	共用部分 指令システム 指令台・指揮台 消防事務支援システム
	各消防本部分 署所端末装置
20消防本部	

(1) デジタル化無線整備事業

平成28年5月31日で使用期限を迎えるアナログ無線を更新する無線機の共同購入

○県内21消防本部（34市町）が共同購入

土浦市は、基地局2局、陸上移動局88局、署活系無線局73局及びデジタル簡易局40局を整備

(2) 共同指令センター整備

いばらき消防指令センター及び各消防本部の指令端末の共同整備

○県内20消防本部（33市町）が共同整備及び運用

いばらき消防指令センター 水戸市内原町395番地1

指揮台1台 指令台9台 配置人員56名（うち本市は4名派遣）

土浦市は、本部指令端末1台、署所指令端末6台及び消防車救急車には車両端末を整備



「いばらき消防指令センター」

【事業の成果】

指令センター及び消防救急無線を共同運用することにより、車両管理の一元化による初動体制の強化を図るとともに、災害の規模拡大や不測の事態に迅速かつ的確に対応することが可能となりました。また、共同で整備を行うことにより、設備の導入費用を削減できました。

款	消防費	項	消防費			
事業名	新消防庁舎整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	6 消防本部新庁舎の整備					
H27決算額	2,944,313千円	財源内訳	国県支出金 51,356千円	地方債 2,639,000千円	その他	一般財源 253,957千円

【事業の概要】

昭和41年に竣工して以来49年が経過し、老朽化、狭あい化した消防庁舎を建て替え、多種多様化する災害に対応できる消防拠点としての新消防庁舎を建設しました。

[新消防庁舎の概要]

1 所在地 土浦市田中町2083番地1 敷地面積13,396.06㎡

2 建物概要

建物	建築面積	延べ面積	建築物高さ	階数	構造
消防庁舎	1656.82㎡	3816.46㎡	22.79m	地上3階	S造（免震構造）
本部車両車庫	287.12㎡	287.12㎡	3.85m	地上1階	RC造・S造
訓練塔A	176.17㎡	460.27㎡	18.90m	地上5階	RC・SRC・S造
訓練塔B	115.94㎡	177.24㎡	7.10m	地上2階	RC造
自家給油所	26.50㎡	26.50㎡	4.50m	地上1階	S造
合計	2262.55㎡	4767.59㎡			

3 事業費内訳 (単位：千円)

科目	支出済額	内容
需用費・備品購入費	88,244	庁舎用什器他購入
委託料	41,191	工事監理委託料他
工事請負費	2,676,603	庁舎建設工事費
公有財産購入費	136,819	敷地買戻し
その他	1,456	手数料・賃借料他
合計	2,944,313	

4 特徴

消防庁舎	全館免震構造	免震部材4種類使用
	非常用発電設備	220kVA 72時間連続運転可能
	太陽光発電設備	30kW 蓄電池(20kWh)付 系統連系
訓練塔	井戸	深さ100m 吐出量400L/min
	水難救助訓練用プール	5m×4m 深さ5m
屋外訓練場	濃煙迷路訓練室	可動式間仕切りを設置
	柱状改良し耐圧を確保	飛行場外離発着場の基準を満たす



【事業の成果】

消防力の基幹である消防庁舎を新たに整備することにより本市消防体制の充実を図り、いばらき消防指令センターの稼働及び消防救急無線のデジタル化と相まって、多種多様化する災害にも迅速かつ的確な対応が可能となりました。

款	消防費	項	消防費			
事業名	消防署所再編事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	1 消防力の充実					
H27決算額	4,183千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 4,183千円

【事業の概要】

新消防庁舎への土浦消防署の移転、道路交通網の変化などを踏まえ、時代環境に適応した体制を構築し、一層の消防力の向上を図ることを目的として、消防署所再編に向けた事業を実施しました。

◎消防力適正配置等調査

消防車及び救急車の到着時間等を踏まえ、適正な署所数や配置、必要な消防力など、総合的な調査を実施しました。

署所数	人口補正	土浦消防署 ※固定	荒川沖消防署	神立消防署	新治消防署	南分署	並木出張所	新設署所	備考
6署所	なし	◎	○	○	△南側	○	△東側	-	概ね現状配置と一致
	あり	◎	○	○	△南側	○	△東側	-	概ね現状配置と一致 ※6署所(人口補正なし)と一致
5署所	なし	◎	○	○		○		○	荒川沖、神立、南は概ね現状と一致 新治消防署と並木出張所の統合
	あり	◎	○	○		○		○	荒川沖、神立、南は概ね現状と一致 新治消防署と並木出張所の統合 ※5署所(人口補正なし)と一致
4署所	なし	◎	○			○		○	荒川沖、南は概ね現状と一致 神立消防署と並木出張所の統合 新治消防署付近には設置されない
	あり	◎	○			○		○	荒川沖、南は概ね現状と一致 神立消防署と並木出張所の統合 新治消防署付近には設置されない ※4署所(人口補正なし)と一致

適正配置結果一覧
(報告書より)



適正配置の結果位置図(5署所体制)
(報告書より)

◎土浦市消防本部署所再編検討委員会

外部委員によって構成された土浦市消防本部署所再編検討委員会を開催し、市長に対して提言を行いました。

- 第1回 平成27年 9月25日 (金)
- 第2回 平成27年10月29日 (木)
- 第3回 平成27年11月25日 (水)
- 第4回 平成27年12月18日 (金)
- パブリックコメント
- 平成28年2月2日 (火) から2月22日 (月)
- 第5回 平成28年3月18日 (金)



提言式

【事業の成果】

消防署所の適正配置の検討により、現在の消防力及び今後必要となる消防力が明確になり、今後の消防署所整備の方針決定に寄与しました。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	「小中一貫教育」推進事業
-----	--------------

施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり
-------	---

施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実
-----	------------------

施策の内容	3 教育内容の充実
-------	-----------

H27決算額	37,556千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						37,556千円

【事業の概要】

子どもの連続的な学びを創造する小中一貫教育の在り方について、各小中学校において、それぞれの学区の状況や特性に応じた取組を進めています。具体的には、合同あいさつ運動、小学校で夏休みに実施している「学びの広場」への中学生の協力等、小学校と中学校の連携強化、系統的な指導を推進してきました。

円滑に小中一貫教育を推進するため、平成26年度から各中学校に小中一貫教育推進非常勤講師を配置しました。これにより、中学校の先生が小学校に出向いて専門性の高い授業を行ったり、小中一貫教育活動に関する計画・協議を充実させたりすることができました。

また、小中一貫交流会を実施し、小学生が中学校に集まって他校の小学生や中学生と交流を深めました。

小中一貫教育の柱の一つである学力の向上については、電子黒板やデジタル教科書を活用し、児童生徒が主体的に取り組むことができるような授業を推進しています。さらに、タブレットや交流学习ツール等を活用して、自分の学級だけでなく他校の児童生徒とも交流しました。多様な考えにふれ、思考力・判断力・表現力を向上できるような授業展開の工夫に努めています。



協働学習ソフト-コラボノートの活用



テレビ会議の様子



小中交流会の様子

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報酬	16,142	小中一貫教育推進非常勤講師 (市内8中学校 8名)
報償費	20	小中一貫教育研修講座講師謝礼
委託料	6,502	情報教育サポーター委託料
使用料及び賃貸料	572	小中交流会バス借上料
備品購入費	14,320	デジタル教科書購入
合計	37,556	

【事業の成果】

小中一貫教育の充実のために、具体的な方策について実践的な取組を進めることができました。市内のそれぞれの中学校区で特色ある教育活動を展開することができ、特に交流活動の後には、多くの児童生徒から喜びや達成感を感じたという感想を聞くことができました。今後は、本市独自の小中一貫教育の在り方を追究していくため、小中一貫教育運営協議会や小中一貫教育推進主任会を中心に、全市的な研究、実践を進めていきます。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	都和小学校校舎改築事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H27決算額	1,577,181千円	財源内訳	国県支出金 98,304千円	地方債 1,068,800千円	その他	一般財源 410,077千円

【事業の概要】

都和小学校について、学習環境の改善を推し進めるため、老朽化が進んでいる校舎の改築計画を進めています。

平成27年度は、前年度に引き続き校舎の改築工事を行い、校舎が完成しました。

[事業計画]

平成24年度	基本設計 プロポーザル選定委員会を設置し、設計事務所を選定 敷地測量
平成25年度	実施設計、地質調査
平成26・27年度	都和小学校校舎棟改築に係る第1期解体、建築主体、電気設備、 機械設備、昇降機設備、空気調和設備の各工事 (平成28年1月完成)
平成28年度	既存校舎解体工事、外構工事

[平成27年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	35,894	工事監理
工事請負費	1,523,970	建築主体工事等
その他	17,317	備品購入費、事務費等
合計	1,577,181	

〈建物概要〉

- ・構造 鉄筋コンクリート造
- ・階数 3階建て
- ・延床面積 5,214㎡
- ・教室内訳 普通教室18室、特別支援学級4室、図工室、家庭科室、図書室、
コンピュータ教室、音楽室、理科室、多目的教室等



都和小学校 完成予想図



都和小学校 校舎竣工後

【事業の成果】

改築整備により建物の耐震・耐久性を確保するとともに、学習環境の改善を推し進めるため、平成26年7月から新校舎の工事に着手し、平成28年1月に完成いたしました。

平成28年度は既存校舎解体工事と外構工事等を行う予定であり、その完成をもって本事業の全てが完了となります。これにより子どもたちへの安全で良好な学習環境を提供することができるようになります。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	第二小学校屋内運動場改築事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H27決算額	338,993千円	財源内訳	国県支出金 90,922千円	地方債 210,600千円	その他	一般財源 37,471千円

【事業の概要】

老朽化が進んでいる第二小学校屋内運動場の改築を行い、災害時の避難場所にも指定されている建物の耐震性・耐久性を確保するとともに、学習環境の改善を図りました。

平成26年度より改築工事を行い、平成28年1月に完成いたしました。

[事業計画]

平成25年度	実施設計 地質調査
平成26・27年度	建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事 (平成28年1月完成)
平成28年度	既存屋内運動場解体工事、外構工事

[平成27年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	7,879	工事監理
工事請負費	328,011	建築主体工事等
その他	3,103	事務費等
合計	338,993	

〈建物概要〉

- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- ・階数 1階建て
- ・延床面積 958㎡



第二小学校屋内運動場 配置図



第二小学校屋内運動場 竣工後

【事業の成果】

改築整備により建物の耐震・耐久性を確保するとともに、学習環境の改善を推し進めるため、平成26年9月より屋内運動場の工事に着手し、平成28年1月に完成いたしました。

平成28年度は既存屋内運動場解体工事と外構工事等を行う予定であり、その完成をもって本事業の全てが完了となります。これにより子どもたちへの安全で良好な学習環境を提供することができるようになります。

款	教育費	項	小学校費・中学校費			
事業名	小学校／中学校施設非構造部材耐震化事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H27決算額	368,507千円	財源内訳	国県支出金 129,189千円	地方債 233,500千円	その他	一般財源 5,818千円

【事業の概要】

東日本大震災の被害状況を受け、児童生徒等の安全確保のため、屋内運動場の天井材や内外装材の落下防止対策を講じます。

平成26年度に実施した天井撤去等の実施設計に基づき、平成27年度は小学校3校、中学校7校の耐震化工事を実施しました。

[事業内容]

対象校

(単位：階，㎡，棟)

学校名	構造	階数	延床面積	棟数
神立小学校	鉄筋コンクリート造	3	976	1
都和南小学校	鉄骨造	2	969	1
乙戸小学校	鉄骨造	2	794	1
土浦第一中学校	鉄筋コンクリート造	3	1,353	1
土浦第二中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,207	1
土浦第三中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,224	1
土浦第四中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,397	1
土浦第五中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,226	1
土浦第六中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,064	1
都和中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,064	1

<工事内容>

吊天井撤去，体育器具・照明器具等の落下防止，窓ガラスの飛散防止等

[平成27年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	28,998	工事監理
工事請負費	339,509	建築主体工事等
合計	368,507	



第二中学校着工前



第二中学校竣工後

【事業の成果】

平成27年7月より順次工事を発注し、平成28年1月に対象となる全10校の工事が完成しました。

耐震性能の向上につながり、児童生徒等の安心安全な学校生活に寄与するとともに、学習環境の向上を図ることができました。

款	教育費	項	小学校費・中学校費
---	-----	---	-----------

事業名	新治小中一貫教育学校整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H27決算額	59,317千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 59,317千円

【事業の概要】

藤沢小・斗利出小・山ノ荘小の3小学校を1校に統合し、新治中学校敷地内に校舎を増築するとともに既存校舎や屋内運動場棟を活用して、本市初の施設一体型の小中一貫校を整備します。平成27年度は、前年度の整備基本計画策定委員会において協議された、施設規模や施設整備の基本方針、施設配置案に基づき、実施設計を行いました。

[事業内容]

新治地区小中一貫教育学校 対象校
(単位：人，学級)

学校名	児童生徒数	学級数
藤沢小学校	241	12
斗利出小学校	49	5
山ノ荘小学校	94	8
小計	384	25
新治中学校	205	8
合計	589	33

平成30年4月開校時の推計値
(単位：人，学級)

学校名	児童生徒数	学級数
小学校分	362	14
中学校分	198	8
合計	560	22

※平成27年5月1日現在。学級数には特別支援学級数含む。

[平成27年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費			概要
	繰越分	当初予算	小計	
委託料	16,353	42,887	59,240	基本・実施設計
その他	0	77	77	事務費等
合計	16,353	42,964	59,317	



新治中学校 現況



完成予想図

【事業の成果】

平成26年度に新治地区小中一貫教育学校整備基本計画策定委員会を設置し、3小学校及び1中学校の現状、既存校舎を活用した施設一体型小中一貫校の整備に当たっての方針等を協議し、既存中学校校舎と平行に新校舎を配置する「平行配置案」を選定しました。

平成27年度は、これをもとに基本・実施設計を行いました。

今後は平成30年4月の開校を目指し、増築校舎建築・既存校舎及び屋内運動場改造・グラウンド整備等を進め、本市初の施設一体型小中一貫校として良好な学習環境の確保を図ります。

款	教育費	項	中学校費			
事業名	中学校施設耐震化事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H27決算額	168,994千円	財源内訳	国県支出金 60,227千円	地方債 106,800千円	その他	一般財源 1,967千円

【事業の概要】

耐震補強工事が必要な学校校舎や幼稚園園舎などを、年次計画に沿って補強工事を進めるとともに、老朽化した施設の質的整備を行うことにより、安心安全に学校生活を過ごすよう学習環境の向上を図ります。

平成27年度は、中学校2校の校舎について耐震補強工事を実施しました。

[事業内容]

耐震補強及び大規模改造工事（工事監理も併せて実施）（単位：階、㎡、棟）

学校名	構造	階数	延床面積	棟数
土浦第一中学校	鉄骨造	1	338	1
土浦第五中学校	鉄筋コンクリート造	3	3,826	3

[平成27年度事業費内訳]

（単位：千円）

区分	事業費	概要
委託料	8,122	工事監理
工事請負費	160,866	建築主体工事等
その他	6	事務費等
合計	168,994	



第五中学校 着工前



第五中学校 竣工後

【事業の成果】

耐震補強及び大規模改造工事を実施することにより、中学校2校の耐震性が向上し、生徒の安全確保及び学習環境の改善を図ることができました。

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	特別展・企画展事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	4 文化・芸術活動の振興						
施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実						
H27決算額	2,898千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
					120千円	2,778千円	

【事業の概要】

上高津貝塚ふるさと歴史の広場では、教育普及事業の更なる充実を図るために考古資料を活用した特別展や企画展を開催しています。平成27年度は開館20周年を迎えたことから、上高津貝塚を取り上げた特別展を開催しました。

開館20周年記念 第14回特別展「上高津貝塚のころ—縄文後晩期 円熟の技と美—」

会期 平成27年10月17日（土）～12月6日（日）

来場者 4,582名

内容 上高津貝塚は、縄文時代の終わり頃の貝塚です。保存状態が良く、当時の食糧事情や自然環境を知る上で貴重な遺跡であることから、昭和52年に国の史跡に指定されました。この時代は縄文文化が円熟し、工芸的に優れた土器や漆器がつくられ、また、塩づくりも始まります。

特別展では、上高津貝塚出土品のほか、霞ヶ浦沿岸の貝塚の資料や、この地域に影響を与えた東北地方の土器や土偶を展示し、縄文時代後晩期の暮らしに迫りました。



関連事業

◎ 記念講演会 参加者93名

・ 演題 上高津貝塚人の魚類資源利用

開催日 平成27年10月25日（日）

・ 演題 縄文の塩づくり～海のみぐみと社会～

開催日 平成27年11月3日（火）

◎ 史跡めぐり「霞ヶ浦沿岸貝塚バスツアー」

開催日 平成27年11月23日（月） 参加者33名

内容 美浦村の陸平貝塚や稲敷市の広畑貝塚をバスで巡りました。

◎ 植物観察会「縄文の森をしらべて遊ぼう！」

開催日 平成27年10月18日（日）・11月29日（日）

参加者 27名

内容 広場に復元された縄文の森を観察しました。館内ではドングリを用いた簡単な工作も行いました。

◎ 展示案内会

開催日 平成27年10月31日（土）・11月21日（土） 参加者11名



上高津貝塚から発見された製塩土器

【事業の成果】

上高津貝塚の資料を中心に霞ヶ浦周辺の縄文社会を紹介しました。展示を通して上高津貝塚への理解を広めることができました。また、関連事業として実施した記念講演会や講座の参加者も多く、郷土学習の普及を図ることができました。

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	戦後70年「市民の記憶」収集事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	4 文化・芸術活動の振興						
施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実						
H27決算額	125千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						125千円	

【事業の概要】

平成27年に戦後70年という節目を迎える機会に、土浦の戦中・戦後を生きてきた市民の体験について聞き取り調査を実施し、その記憶の保存と活用、継承を図ることを目的としています。

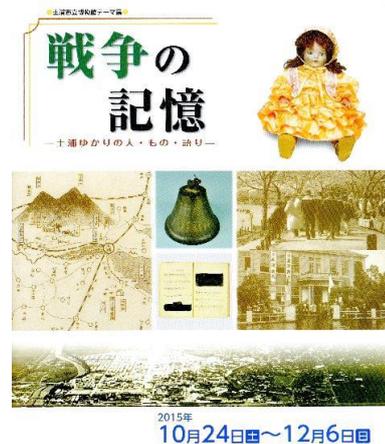
第二次世界大戦の戦中・戦後の厳しい時代を経験した世代が高齢化する現状を踏まえ、アンケートや聞き取り調査を行い、土浦における戦争の記憶や体験を記録化します。調査の成果は博物館で記録保存し、調査報告書を刊行するとともに、館内の情報ライブラリーコーナーや学校教育の教材としても活用できるように、長く戦争体験の継承を図ります。

〈事業の全体計画〉

- ・平成27年度：市民へのアンケート調査、聞き取り調査、体験文の収集、関係資料の収集
- ・平成28年度：聞き取り調査、文献調査、調査資料の整理、補足及び追加調査
- ・平成29年度：調査報告書の原稿作成、編集
- ・平成30年度：調査報告書の刊行
- ・平成31年度：学校教材版の作成
博物館情報ライブラリーコーナーでの公開



体験文紹介コーナー（館内ホール）



土浦市立博物館

テーマ展パンフレット

【事業の成果】

平成27年度の調査で、約70人の市民にアンケート調査の協力を得ています。このアンケート調査に基づき、回答があった方々から直接に聞き取り調査を進め、合わせて体験文も収集しています。中には、市外・県外にお住まいの土浦ゆかりの方々からの情報も寄せられています。

調査を契機に、テーマ展「戦争の記憶－土浦ゆかりの人・もの・語り－」を10～12月に開催し、「市民の記憶」収集事業のPRとともに、調査成果を一部公開しました。また、その後も引き続き、館内ホールで聞き取り調査の成果や収集した体験文を紹介し、普及に努めています。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	放課後児童クラブ・放課後子ども教室推進事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	3 次代を担う青少年の健全育成					
施策の内容	4 放課後子どもプランの推進					
H27決算額	205,273千円	財源内訳	国県支出金 115,631千円	地方債 8,200千円	その他	一般財源 81,442千円

【事業の概要】

◎放課後児童クラブ

〈児童クラブ室の創設・増設工事〉

(単位：千円)

区分	事業費	概要
都和南小学校第2児童クラブ室新築工事	27,133	学校敷地内専用クラブ室
斗利出小学校児童クラブ室創設	1,075	学校余裕教室
合計	28,208	

〈高学年受け入れ〉

入所児童数（平成28年3月1日現在）

(単位：人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
全41クラブ	487	421	371	193	45	6	1,523

〈その他の経費〉

非常勤職員報酬等	139,735千円
賃金	6,123千円
報償費	2,570千円
消耗品費	5,666千円
修繕料	2,174千円
通信運搬費	1,362千円
委託料	784千円
備品購入費	895千円
その他	2,383千円



◎放課後子供教室推進事業

(単位：人)

実施校	開設年度	登録児童数	委託先
土浦小学校	平成26年度	138	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
山ノ荘小学校	平成22年度	65	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
東小学校	平成23年度	104	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
藤沢小学校	平成23年度	108	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
上大津東小学校	平成24年度	80	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
右廻小学校	平成24年度	43	特定非営利活動法人 World Wide Dreams
都和南小学校	平成25年度	55	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
荒川沖小学校	平成26年度	110	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
下高津小学校	平成27年度	118	株式会社 アンフィニ
合計		821	4事業者

〈経費〉

運営委託料15,242千円、放課後子供教室推進事業運営委員会委員謝金ほか131千円

【事業の成果】

大規模児童クラブの分割、新クラブ創設により、児童の衛生面や安全面等の環境整備が図られました。また、女性の就労や少子化が進む中、児童福祉法改正に伴う高学年児童受け入れなどで、より子育てと仕事の両立を支援することができました。

放課後子供教室については、実施学校の体育館など子どもたちの安全・安心な居場所を設け、放課後に子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することができました。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	水郷プール再整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興					
施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
H27決算額	1,466,565千円	財源内訳	国県支出金 200,000千円	地方債 969,400千円	その他 101,380千円	一般財源 195,785千円

【事業の概要】

東日本大震災により被災し、休業している水郷プールについて、現在の場所に規模を縮小して新たにプールを整備するため、平成24年度から継続事業で再整備を進め、平成28年3月に完成しました。

◎施設の概要

- ・流水プール : 延長 270.5m, 幅 6.0m
- ・多目的プール : 25m×8コース
- ・ちびっ子プール : 376㎡ (ミニすべり台, バケツアウト, 噴水)
- ・直線スライダー : 延長 30.8m×3レーン
- ・チューブスライダー : 延長 80.7m×1レーン, 延長 50.2m×1レーン
- ・管理棟 : 1棟 (鉄筋造2階建て 899.51㎡)
- ・売店 : 2店舗

◎平成27年度事業費

(単位: 千円)

区 分	事 業 費
工事監理委託料	18,819
建築工事費	1,011,042
機械設備工事費	272,938
電気設備工事費	149,796
旅費	126
完了検査申請手数料	77
消耗品購入費	7,942
備品購入費	5,825
合 計	1,466,565

◎全体事業費 1,999,208千円

◎今後のスケジュール

- 平成28年度
 - ・7月11日竣工式
 - ・7月16日リニューアルオープン



水郷プール 完成写真

【事業の成果】

平成28年7月の供用開始に向けて、建築・機械設備・電気設備工事を行いました。水郷プールのリニューアルオープンにより、市民の健康の維持及び増進が期待できます。また、ちびっ子プールについては、春季及び秋季に水遊びスペースとして無料開放することで市民サービスの向上を図ります。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	川口運動公園野球場観覧席、夜間照明灯及び関連施設整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興					
施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
H27決算額	93,170千円	財源内訳	国県支出金 5,751千円	地方債	その他	一般財源 87,419千円

【事業の概要】

老朽化が著しく狭い野球場の観覧席を新設することに加え、平成31年度茨城国体の軟式野球開催に合わせて夜間照明灯を整備しています。
平成27年11月から平成28年2月にかけて内野観覧席を撤去した上で、新しい観覧席の基礎工事及び夜間照明灯の基礎工事に着手しました。

◎施設の概要

- 整備場所：土浦市川口二丁目地内
- 工期：平成27年9月～平成29年5月（既存内野観覧席撤去含む。）
- 延床面積：8,294.41㎡
- 建築面積：4,853.54㎡
- 高さ：19.35m（メインスタンド高）
- 構造等：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て（1階関連諸室、2階観覧席）
- 収容人数：約13,000人（内野約10,000人、外野約3,000人）
- 夜間照明：照明灯4基設置

◎事業費

[平成27年度分] (単位：千円)

区分	事業費
野球場観覧席解体工事	51,138
野球場ナイター照明設備工事	11,502
野球場改築建築主体工事	28,642
野球場改築電気設備工事	1,177
野球場改築機械設備工事	605
工事監理業務委託	106
合計	93,170

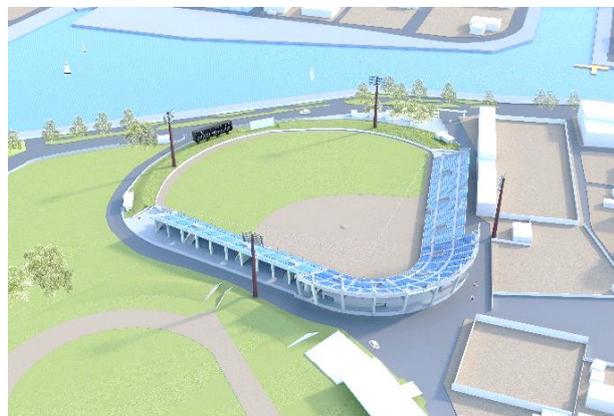
[平成28年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費
野球場改築機械設備工事	756
工事監理業務委託	213
合計	969

◎平成27年度～平成29年度 継続費設定：2,101,002千円

◎今後のスケジュール

- 平成27年度～29年度
 - ・建築主体工事
 - ・機械設備工事
 - ・電気設備工事
 - ・ナイター照明設備工事
- 平成29年度
 - ・7月供用開始（予定）



川口運動公園野球場 完成予想鳥瞰図

【事業の成果】

平成29年度の供用開始に向けて、野球場観覧席及び夜間照明灯の整備を進めるため、解体工事を実施し、ナイター照明設備工事・建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事に順次着手しました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	土浦市学校給食センター再整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	8 学校給食の充実					
H27決算額	30千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 30千円

【事業の概要】

第1学校給食センター（昭和45年竣工）及び第2学校給食センター（昭和50年竣工）については、施設設備の老朽化が著しいことや耐震基準を満たしていないこと、調理環境の悪化や衛生管理、安全面において支障をきたす恐れがあるなどの課題があります。

学校給食センター再整備に向け、平成24年度、平成25年度の2カ年で基本構想を策定し、平成27年度は、新学校給食センター建設に係る各種事業に着手するため、先進地の視察（川口市等）を行いました。

新学校給食センター建設用地については、平成27年度に選定することができなかったことから、基本・実施設計等の委託料は未執行となりました。



第1学校給食センター



第2学校給食センター

[平成27年度事業費]

(単位：千円)

区分	当初予算額	事業費	概要
旅費	66	30	先進地視察旅費
委託料	32,600	-	基本・実施設計
合計	32,666	30	

◎施設概要

新学校給食センターの整備については、用地の確保に加え、建設コストの削減や調理機器及び人員体制の効率化を図るため、2つの既存センターを統合し、1センター方式とします。

提供給食数	12,000食/日
対象	市立幼稚園，市立小学校，市立中学校
献立形態	3献立制
建築面積	約4,000㎡
敷地面積	約6,800㎡以上

◎事業スケジュール

平成28年度 建設用地決定，基本・実施設計・地質調査（継続事業），土地測量
平成29年度 基本・実施設計・地質調査（継続事業），新治庁舎解体工事
平成30年度 建築工事（継続事業）
平成31年度 建築工事（継続事業）
平成32年1月 供用開始

【事業の成果】

先進自治体の学校給食センター整備について現地を視察し、施設設備や厨房機器、具体的整備スケジュールについて詳細を学び、本市再整備の参考とすることができました。

平成27年度中に具体的な事業に着手することはできませんでしたが、新学校給食センターの建設用地を平成28年度に新治庁舎跡地と決定し、平成28年度、平成29年度の継続事業で基本・実施設計・地質調査等に取り組んでいきます。

款 災害復旧費 項 文教関係災害復旧費

事業名	指定文化財等災害復旧事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	4 文化・芸術活動の振興					
施策の内容	3 文化財の保護と活用					
H27決算額	20,063千円	財源内訳	国県支出金 8,624千円	地方債	その他	一般財源 11,439千円

【事業の概要】

茨城県指定文化財「矢口家住宅」は、城下町土浦に残された江戸時代後期の貴重な土蔵造の商家建築物です。東日本大震災により被災した所有者に対して、指定文化財を修理復元するための費用の一部を助成しました。

(単位：千円)

年度	決算額	国県支出金	一般財源	工事の概要
平成24年度	9,476	—	9,476	元蔵の解体・基礎工事
平成25年度	4,500	3,613	887	元蔵の復元工事、店蔵・袖蔵の解体
平成26年度	15,507	7,797	7,710	元蔵の復元工事、店蔵・袖蔵の基礎工事
平成27年度	20,063	8,624	11,439	店蔵・袖蔵・米蔵の復元工事
合計	49,546	20,034	29,512	

「矢口家住宅」は、店蔵・袖蔵・元蔵の3つの蔵から構成されています。解体した部材は出来るだけ修理して再利用し、建方をはじめ土蔵造の竹木舞や荒壁・漆喰塗り等の技法は、日本古来の伝統工法に従って復元されています。



建方工



竹木舞工



荒壁工



復元状況

【事業の成果】

「矢口家住宅」を復元することにより、まちかど蔵「大徳」,「野村」と合わせて、失われつつある城下町土浦の町並景観を維持することができ、次世代に継承されていくことが期待されます。